

自己点検授業

自己点検授業は、学生自身が学習のプロセスとその成果について確認を行う授業として各授業の最終回に実施されます。科目担当教員から学習支援計画書に記載された「学生が達成すべき行動目標」に対する講評や提出されたレポートの返却ならびに今後の学習に対するアドバイスが行われます。

修業年限と在学制限（平成30年度（2018年度）入学生）

修業年限は4年です。8年を超えて在学することはできません（学則第5条）。

休学期間は在学期間を含めません。通算して2学期間を超えて休学することはできません（学則第13条）。休学についてはp.15を参照してください。

進級条件と卒業要件（学部）

進級するためには、以下に示す進級条件を満たしている必要があります（修学規程第4条の3別表第1）。進級条件は入学年度により異なります。よく確認しておきましょう。

平成30年度（2018年度）入学生の進級条件（学部）

年次	進級条件
2年次	1年次に1年以上在学し、かつ、修得単位数が30単位以上であること。
3年次	2年次に1年以上在学
4年次	3年次に1年以上在学

※1 修得単位数には、金沢工業大学学則別表第1教育課程表（第18条関係）（以下、課程表と表記）
専門教育課程「その他」ならびに教職に関する科目の単位は含めない。

※2 課程表で上位学年に配当されている科目は履修できない。

※3 「〇年次に1年次以上」とは、該当年次の前学期と後学期の履修歴があることとする。

平成30年度（2018年度）入学生の履修条件（学部）

次の指定科目を履修するには、履修条件を満たさなければなりません（修学規程第5条）。

指定科目	履修条件
2年次以降に開講される科目	修得単位数が 30単位 以上であること。
「専門実験・演習A・B」	修得単位数が 62単位 以上であること。
「専門ゼミ」	修得単位数が 86単位 以上であること。
「プロジェクトデザインⅢ（PDⅢ）」	1・2年次の全必修科目ならびに選択必修科目の単位を修得、「専門実験・演習A・B」、「専門ゼミ」を含む修得単位数 110単位 以上

なお、これらの科目の履修条件の適用は専門実験・演習科目の開講する年度の始まりまでに修得した単位数によります。「専門ゼミ」を修得して「プロジェクトデザインⅢ」の履修条件を満たさない場合、再度「専門ゼミ」を履修し、修得しなければなりません。

※1 「専門実験・演習A・B」を工学部電気電子工学科は「電気電子工学専門実験A・B」、建築学部建築学科は「建築デザイン総合演習A・B」、「建築エンジニアリング総合演習A・B」と読み替えるものとする。

※2 「プロジェクトデザインⅢ」を履修するには、前年度の「専門ゼミ」を修得しなければならない。
修得単位数には、教育課程表（第18条関係）専門教育課程「その他」ならびに教職に関する科目の単位は含めない。

※3 選択必修科目の単位取得とは、科目区分「英語」選択科目から4科目8単位、科目区分「人文社会科学・外国語」選択科目から2科目4単位を修得することを指す。

※4 「PDⅢ」履修後、当該科目が不合格となった場合の「専門ゼミ」の再履修は不要。

平成 29 年度（2017 年度）入学生までの進級条件（学部）

年次	進級条件
2 年次	1 年次に 1 年以上在学し、かつ、修得単位数が 20 単位以上であること。
3 年次	2 年次に 1 年以上在学し、かつ、修得単位数が 60 単位以上であること。
4 年次	3 年次に 1 年以上在学し、かつ、「専門ゼミ」を含む修得単位数が 108 単位以上であること。

卒業要件（学部）

本学学部を卒業するためには、次の事項をすべて満たしていなければなりません。

- (1) 卒業に必要な最低単位数（124 単位）を修得していること（修学規程第 12 条別表第 5）。
- (2) 4 年以上在学していること（学則第 5 条、第 25 条）。
- (3) 指定放送大学科目の中から 1 科目以上をが合格（S, A, B, C）または履修済み（Z）であること。
（修学規程第 9 条）
- (4) 「人間と自然セミナーⅠ・Ⅱ・Ⅲ」を履修し、合格していること（学則第 25 条）。

卒業（学士の学位授与）

卒業要件を満たした者には、教授会の意見を聴いて、学長が学士の学位を授与します（学則第 25 条）。

授与される学位には、学部ごとに次のとおり専攻分野の名称が付記されます（学則第 25 条）。

工学部	学士（工学）	建築学部（※）	学士（工学）
情報フロンティア学部	学士（情報学）	バイオ・化学部	学士（理工学）

※平成 29 年度までの入学生は環境・建築学部

卒業に必要な最低単位数（平成 24 年度（2012 年度）以降入学生）

課程区分	科目区分	科目群	卒業に必要な最低単位数
修学基礎教育課程	修学基礎科目	修学基礎	6
		人文社会科学・外国語	10
	人間形成基礎科目	生涯スポーツ	2
		人間と自然	—
		生涯学習	—
英語教育課程	英語科目	英語	8
数理基礎教育課程	数理基礎科目	数理基礎	16
基礎実技教育課程	基礎実技科目	基礎実技	8
専門教育課程	専門科目	専門	59
	専門プロジェクト科目	専門プロジェクト	9
課程共通			6
合計			124

●上表の単位には、学則第 18 条別表第 1 および修学規程に基づく教育課程表の必修科目および選択必修科目の単位が含まれていなければならない。

●専門教育課程における卒業に必要な最低単位数は、所属する学科の授業科目の履修によって修得していなければならない。

●課程共通の 6 単位については、人文社会科学・外国語、生涯学習、英語、数理基礎、基礎実技および専門の科目群から修得していなければならない。

各年次で修得すべき単位数について（平成 29 年度までの入学生対象）

■ 1 年次

1 年次終了時で 40 単位以上の修得が望ましい。

※修学上の注意事項

- 授業での学習と課外での学習のバランスを注視する。
- 出席状況が成績評価に大きく影響することから、学習中心の生活リズムを確立する。

■ 2 年次

2 年次終了時で 85 単位以上の修得が望ましい。

※修学上の注意事項

- 専門科目に対する基礎学力を定着させ、キャリアデザインに基づく専門への興味、理解を伸ばすため、積極的にオフィスアワーや学習支援デスクなどの教育支援制度を活用する。
- 2 年次進級時に修得単位の少ない学生（30 単位以下）は、修学アドバイザーとの面談及び修学相談室での相談を実施し、早急に問題解決を図る。また、必要に応じて各教育支援施設を利用する。

■ 3 年次

3 年次終了時で 116 単位以上の修得が望ましい。

※修学上の注意事項

- 4 年次進級時には 1～3 年次に開講される全必修科目の単位を修得していることが望ましい。
- 4 年次では、「プロジェクトデザインⅢ」の履修のみの状況が望ましい。

卒業要件にかかわる特殊な科目

■ 指定放送大学科目

履修の方法と併せて、p.63 から詳しく扱います。

■ 人間と自然セミナー

「人間と自然」科目群は、「人間と自然セミナーⅠ」、「人間と自然セミナーⅡ」および「人間と自然セミナーⅢ」で構成されており、修学基礎教育課程の「人間と自然」に属しています。本授業は金沢工業大学穴水湾自然学苑において、2泊3日の研修（日程は学年暦（pp. 99 - 100）参照）形式で実施されます。これらの科目は、単位は付与されませんが、いずれも卒業要件になっており、「合格」しなければ卒業できません（卒業要件（学部）参照）。履修申請は、「人間と自然セミナーⅠ」は教務課で一括登録しますので必要ありません。しかし、「人間と自然セミナーⅡ」および「人間と自然セミナーⅢ」ではみなさん自身が履修申請を行う必要がありますので注意してください。

● 研修日程および実施場所について

全日程を金沢工業大学穴水湾自然学苑（p. 91 参照）で実施します。

● 集合時間および場所等について

- (1) 研修初日の午前 8 時 30 分までに 3 号館前通路の集合場所に集まってください。
- (2) 指導員による「出席と健康状態の確認」を必ず済ませた後、大学指定のバスに乗車してください。
- (3) 往路復路とも大学指定のバスにより移動します。バスに乗り遅れた場合は、欠席扱いとなります。欠席した場合は必ず教務課に届け、指示を受けてください。別の手段で来苑しても参加できません。

学部で修得した大学院科目の単位認定申請（大学院）

■ 単位認定の申請について

学部 4 年次に大学院科目の単位を修得し、本学大学院博士前期課程（修士課程）に進学した者は、教務課にて所定の手続きを行うことで、大学院科目の単位として修得した単位の一部または全部について、単位認定の申請をすることができます。（大学院科目の履修については p. 56 を参照）

● 平成 30 年度の申請期間

4 月 3 日（火）8：30～4 月 11 日（水）17：00

● 申請方法

「単位換算申請書」および「成績証明書（科目履修学部生）」のコピーを申請期間内に教務課に提出してください。なお、「単位換算申請書」は、教務課ホームページからダウンロードできます。

申請した科目の認定結果は、申請した年度の前学期の成績公開時に反映されます。